

日 時 平成21年7月12日 午後2時25分キックオフ (快晴：猛暑)
そう言えば、梅雨明け

会 場 生目の杜人工芝

相 手 跳勇

結 果 1-0 (0-0、1-0)

得点者 瀬戸山

MVP 今後の爆発の期待を込めて瀬戸山

今節は跳勇戦。フェニックスはここまでリーグ戦1勝1敗。昨年の跳勇戦は、後半猛攻を掛けるも、1-1の引き分け。今季は昨年の雪辱を晴らしたいところであった。戦術はとくになし。徹底した暑さ対策(水、梅干し、テント等、)で、スタミナ切れしないよう注意を払い試合に臨んだ。

(前半)

序盤は静かな立ち上がり。

4分 左サイドからFKを緒方がゴール前にけり込むもはずれる。

フェニックスは、遠目からのミドルシュートを中心に積極的に攻撃を仕掛けるも、得点には至らず。一方跳勇は、FWへのポストプレーを中心に攻撃するも、フェニックス守備陣のオフサイドの網に掛かり、シュートまで行かせない。

結局前半は、中盤の攻守で優位に立ったフェニックスのペースで0-0のまま終わった。

(後半)

後半は、新人青山をFWに投入。周囲との連携がスムーズにいくかが見所であった。

6分 右サイドを切り崩した青山から黒田、緒方とダイレクトに渡るもゴールをはずれる。

11分 右サイドを崩され、角度の無い位置からシュートを打たれるも、谷照大神(旧谷之木大明神)が右足で巧くブロック。

13分 右に切り込んだ渡部がセンターリング、中央やや左側で受けた緒方が相手DF2人を交わそうとして交わせず、中央の瀬戸山にパス。これを、瀬戸山がダイレクトで目の覚める様なゴロシュートを放ち、ゴール左隅に決まり貴重な先制点をゲット!瀬戸山自身、フェニックス初ゴールであった。

26分 カウンターを喰らい、ペナルティエリアぎりぎりの所で守備とGKと相手FWが交錯し、相手FWがうまく抜けだし、がら空きのゴールにボールを流し込んで、万事休すか?!と思った瞬間、何と、ボールがポストに当たり戻ってきたボールを何とかクリア。

29分 ゴール前の相手コーナーキックからカウンターで青山が単独で切り込み、GKと1対1となるものの、相手GKにシュートをブロックされた。

その後もいつもの如く、相手に攻め込まれ苦しい時間帯が続くもこのままタイムアップ。虎の子の1点を守り抜き、1-0の完封勝利となった。

攻撃は、シュートの意識が高く、得点シーンでは、2列目からのシュートでいい形を作ったものの、中盤の相手のプレッシャーにより、逆サイドへの展開がいつもより少なく、サイドバックの攻撃参加も暑さのせいで少なく、FWになかなかいい形でボールが繋げませんでした。

結果、ビッグチャンスがあまり作れませんでした。また、後半1点取ってからの時間の使い方も、やみくもにセンタリングを上げず、DFにボールを戻してからサイドチェンジするなど、今後の課題と思われます。

守備は、久しぶりの完封で結果は出しましたが、それ程攻め込まれなかったため、あまり参考になりません。ポストに救われた場面や、相手コーナーキック時のマークが甘くヒヤリとした場面もありました。また、サイドチェンジもほとんどなく、コートを広く使えていませんでした。それと、相手FWへボールが入ったときのプレッシャーが甘く、簡単に捌かれる場面もありました。点が入るときは、いいディフェンスがスタートです。DF陣は失敗を恐れず、もっと前で勝負してもよいかもしれません。

(その他特筆事項)

- ・HT 児玉： FWで先発するも、ジャンピングボレーを見せられず。
- ・青山： 周囲と無難にフィット。
- ・黒田： 子供用プールの空気入力で活躍。
- ・谷之木： 谷照大神（たにてらすおおみかみ）にレベルアップ。第2のスイーパーとして相変わらずの守備範囲を見せた。

何はともあれ、万全の暑さ対策もあり、これで2勝1敗と勝ち越しました。次節はSSFC。なんか強いみたいです。増田に引き分け、JAに3-0で快勝。しかし、格上キラーのフェニックスとしては、持ってこいの相手です。次節も各自十分な準備を行い、勝利目指して頑張りましょう！審判団、応援の方々、暑い中お疲れ様でした。

参加者

<先発>

FW（黒田、児玉好）

MF（緒方、渡部、瀬戸山、越智）

DF（久保、赤野、久保野、中園）

GK（谷之木）

<交代>

後半 越智 → 青山

後半15分 緒方 → 橋谷

後半20分 久保 → 鳥原

審判 主審：橋谷、副審：緒方、鳥原

監督等 高妻

応援 児玉好史ご一家、荻窪、黒木、稲用、藤田（DL）